

【第二次提案 - 1】 主要施設の配置について

第一次提案を踏まえた上で検討した、主要施設の配置についての提案内容

歩いて暮らせる住みやすいまちを目指して、歩行者空間を優先とする安全な生活主動線であるシンボルロード緑道に沿って主要施設を配置する。

上記提案を踏まえた上で、下記の主要施設の配置を提案する。

① 商業エリア

- お年寄りでも歩いて買い物ができるように、また店舗が集積し賑わいが創出されるよう、一定程度まとまった商業エリアを確保する。
- 賑わいの拠点がまちの顔となるように、交通量の多い県道塩釜亘理線と、海方面へつながる閑上港線に隣接した場所に商業エリアを配置する。

② 子育て関連施設

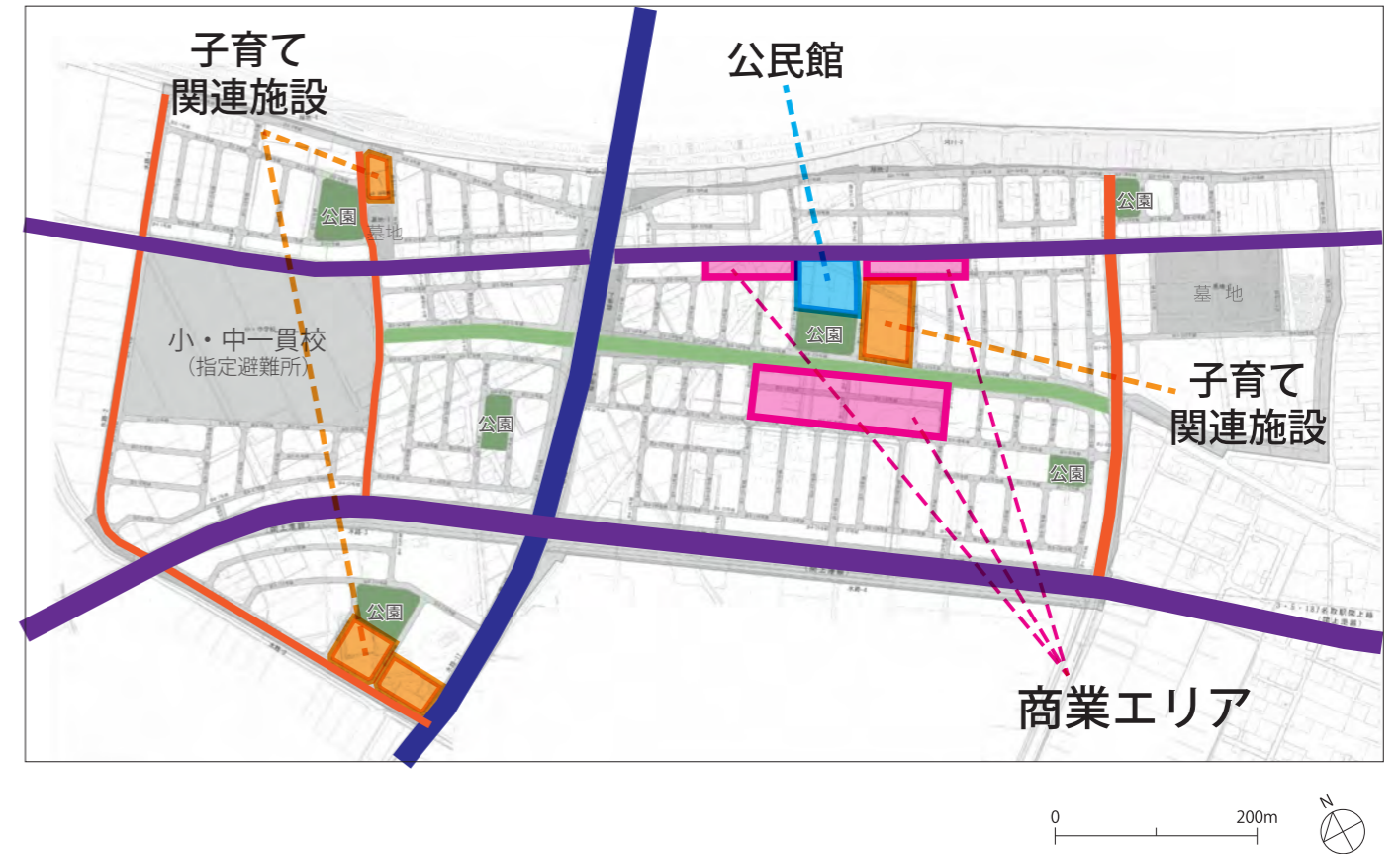
- 複数人の子どもを育てる家族が送り迎えや集団登下校しやすいように、小・中一貫校の周辺に児童センター・児童遊園、幼稚園・保育所を配置する。
- 緊急時においても年代の違う子ども達がまとまって避難できるように、児童センター・児童遊園、幼稚園・保育所を互いに近い位置に配置する。

③ 医療・福祉施設

- お年寄りでも歩ける範囲で買い物と医師の診察が受けられるように、医療・福祉施設を商業エリアの近くに配置する。
- 緊急時の際には歩きでも車でも避難しやすいよう、シンボルロード緑道と閑上港北線に接する場所に医療・福祉施設を配置する。

現行計画

※ 平成25年11月22日 事業認可を受けた時点での土地利用計画図より



第二次提案の配置例

※ 第一次提案を踏まえた協議会案に配置したもの

